

志賀原子力発電所 1号機

タービン補機冷却海水系の配管からの海水漏えいについて

志賀原子力発電所 1号機（第 13 回定期検査中）において、2019 年 7 月 22 日（月）14 時頃、1号機海水熱交換器建屋（非管理区域）のタービン補機冷却海水系^{※1}海水ストレーナ(C)逆洗水出口配管^{※2}から海水が漏えいしていることを確認しました。このため、タービン補機冷却海水系を停止し、漏えいは止まりました。

その後、当該配管を取り外し、閉止フランジを取り付け、タービン補機冷却海水系を再起動しました。

漏えいした海水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。

調査の結果、当該配管は、乱流が生じやすい配管径変化部であることに加え、海水ストレーナ下流近傍であり海水ストレーナ洗浄のつど洗浄排水に含まれる海生生物等の影響を受けやすいことから、配管内面に施工されているライニング^{※3}が偶発的に損傷し、その後配管内面が腐食したことにより、配管そのものに小さな孔が開き、海水が漏えいしたものと推定しています。

今後、9月下旬を目途に当該配管の交換を実施するとともに、海水ストレーナ下流近傍の配管径変化部についても定期的に点検を実施します。

- ※ 1 タービン補機冷却水系熱交換器へ冷却水として海水を供給し、タービン補機冷却水系の機能を維持する系統。
- ※ 2 海水ストレーナに付着した海生生物等を取り除くため、海水ストレーナの洗浄を実施した際に、その洗浄排水を放水路に導く配管。
- ※ 3 配管内面の腐食を防止するため、ポリエチレン製の樹脂を溶着したもの。

